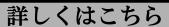
事 例

通販サイトで商品を注文しようと思ったけど、偽サイトかもしれない。 偽サイトかどうか見極める方法はないの?

JC3(一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター)は、インターネット利用者が ウェブサイトの危険性の有無について確認することがサービス「SAGICHECK」を公開 しています。 (https://sagicheck.jp/)



SNSでサイバー犯罪の最新手口を随時投稿中です。 ぜひフォローしてチェックしましょう!







公式X(旧ツイッター) 公式インスタグラム

知る『学ぶ』防ぐ』 サイバー犯罪

福岡県田川警察署

相談事例から「知る!学ぶ!防ぐ!」

台風が近づいていたので、SNSで台風に関する情報を確認していた ら、突然アダルトサイトに繋がった。

スマートフォンなどのモバイル端末を使ったメールやSNSは、災害発生時の貴重な情 報源となる反面、情報の中には真偽の分からない、いわゆる「デマ情報」が含まれてい ることもあるので注意が必要です。

アダルトサイトに誘導



SNSで災害に関す る情報を確認中、添 付画像をタップする と、アダルトサイト に繋がったという ケースもあります。

災害への警戒を呼 び掛ける文言も書か れており、一見する とおかしなところが ないので注意が必要 です。

災害時にデマ情報を投稿



地震のせいで、 家の近くの動物 園からライオン が放たれた #福岡

過去には、デマ情 報をSNSに投稿した ことで、逮捕された ケースも・・・

災害に乗じた詐欺行為等

正式な組織を装い、被災地へ の復興支援活動の目的と騙り 「義援金」などと称して金銭を 騙し取る悪質な詐欺も確認され ています。

寄付のお願いと称してフィッ シングサイトに誘導されるケー スもあります。

皮災地の復興を支えるため、 爰金を募る活動を開始しました 寄付は下記のリンクか<u>らお願</u>し 寄付のリンク →https://helt

AI(人工知能) で 作ったデマ画像な ども確認されてい 情報の真偽はきち



被害に遭わないために

- ◆ 真偽の分からない情報を転送したり、リポストして拡散しないようにしましょう
- ◆ 情報を伝える時は、真偽を確かめてから青任を持って発信しましょう
- ・メールを受信した時は、リンクを安易にクリックしないようにしましょう